

京都大学

卓越大学院プログラム

プラットフォーム学

募集要項

令和 8(2026)年度

京都大学大学院横断教育プログラム推進部

プラットフォーム学卓越大学院プログラム

プラットフォーム学卓越大学院プログラムについて

■ プログラムの目的

農業、医療、防災等の分野において各分野で発生する社会リスクを低減するために、社会に遍在する各種情報をデジタルデータ化し、そのデータを広範囲に収集し、ビッグデータと呼ばれる大規模データとして蓄積、それらデータの整理、分析、共有するという情報通信技術を利用した“プラットフォーム”の整備、利活用が進んでいます。この社会を駆動するプラットフォームの構築には、データが持つ意味を理解・解釈し、利用データに適応した処理・表現を行い、データ処理の分散性、安全性、コスト、並びに社会的公正性、価格の均衡等の意志決定メカニズムを持つ、既往の概念を超越したプラットフォームを情報学、農学などの学術の系統的な連携により構築することが必要です。

本プログラムでは、プラットフォーム構築に必要な主専攻に関する「中核卓越専門力」、中核分野を深化できる副専攻分野に関する「深化専門力」、プラットフォーム構築に必要な文系学術に関する「文理融合力」、社会課題を解決できるプラットフォームの「構築力」、プラットフォーム構築のための研究開発プロジェクトの「推進力」ならびに構築したプラットフォームの社会実装、国際標準化、国際展開を行う「持続力」を兼ね備えた人材の育成、プラットフォーム学および関連する学問・研究分野を強い責任感と高い倫理性を持って牽引できる国際的リーダーの育成を目指します。

■ 育成する人材像

本プログラムでは、「プラットフォーム学の新規創出と社会を駆動するプラットフォーム構築への挑戦」を共通理念としてプラットフォーム学および関連する学問分野を牽引できる国際的リーダー、具体的には以下の能力を有する人材の育成を目指します。

- (a) 中核卓越専門力：プラットフォーム構築に必要な主専攻に関する高い専門知識、独創性のある研究開発能力
- (b) 深化専門力：中核分野を深化できる副専攻分野に関する専門知識
- (c) 文理融合力：プラットフォーム構築に必要な文理両学術に関する専門知識と異分野の研究者とのコミュニケーション能力
- (d) 構築力：社会課題を解決できるプラットフォーム構築能力、プラットフォーム構築に必要な研究開発プロジェクト構築能力
- (e) 推進力：研究開発プロジェクトの推進能力、管理能力
- (f) 持続力：研究開発プロジェクト成果の社会実装、国際標準化、国際展開力

■ 望む学生像

本卓越大学院で望む学生像は、以下の通りです。

- ・ 本プログラムの目的に共感し、新たなプラットフォームの構築やそれに関連する学問・研究開発分野において国際的な活躍を目指す人
- ・ 専門分野の研究を、関連する学問分野を俯瞰しながら進めるために必要となる基礎学力と知的好奇心を有し、持続的な課題解決に挑むことができる人
- ・ 優れた論理的思考力を有し、既成概念にとらわれない判断ができる人

■ 履修者選抜

プログラム履修者選抜では、学修を希望する専門分野の基礎学力に重点をおきつつ、先端研究を推進・展開できる基礎的能力の評価も加えて選抜します。選抜は、願書、志望調書、出身大学(大学院)の学業成績証明書等による書類審査の他、必要に応じて面接審査を行います。

なお、本プログラムには、情報学研究科 情報学専攻、または農学研究科 農学専攻、森林科学専攻、応用生命科学専攻、応用生物科学専攻、地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻のいずれかの博士前期課程(修士課程)への入学が許可された者が応募できます。また、博士後期課程への入学を許可された者がプログラム3年次への編入に応募することも可能です。

表 1 プラットフォーム学卓越大学院プログラムに参画している研究科・専攻

情報学研究科	情報学専攻
農学研究科	農学専攻 森林科学専攻 応用生命科学専攻 応用生物科学専攻 地域環境科学専攻 生物資源経済学専攻

■ 博士学位

本プログラム履修者に対する博士の学位授与は、所属する研究科から行われます。授与される博士学位は、情報学研究科においては「博士(情報学)」もしくは「博士(総合学術)」、農学研究科においては「博士(農学)」です。

「博士(情報学)」または「博士(農学)」の場合には、本プログラムを修了した旨、学位記に附記されます。

■ 卓越大学院プログラム履修者への支援

本卓越大学院プログラムは、文部科学省からの補助金等により運営されてきましたが文部科学省からの補助金が令和 8 (2026) 年度で終了します。そのため、令和 9 (2027) 年度以降の支援内容は変更となる可能性があります。

なお、本卓越大学院履修者に対して京都大学大学院教育支援機構 SPRING プログラムの優先採用枠が設定されています。

I. 履修者募集

1. 募集人員

プログラム履修者 12名

2. 出願資格

令和8(2026)年度の4月に以下の研究科・専攻の修士課程に入学した者。

- ・情報学研究科：情報学専攻
- ・農学研究科：農学専攻、森林科学専攻、応用生命科学専攻、応用生物科学専攻、地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻

3. 出願手続

以下の書類を持参または郵送(書留速達郵便)で提出すること。

- ①願書(所定の「様式1」←Ⅲ.参照)
- ②志望調書(所定の「様式2-1」←Ⅲ.参照)
- ③受入承諾書(所定の「様式3」←Ⅲ.参照)
- ④プログラム修了者追跡調査協力同意書(所定の「様式5」←Ⅲ.参照)
- ⑤出身大学の学業成績証明書
- ⑥学生証のコピー(留学生は、併せて「在留カード」の表面・裏面のコピー)

出願期間：令和8(2026)年4月7日(火)～4月14日(火) 午後5時必着

提出先：Ⅵ.参照

提出書類は日本語または英語で作成すること。日本語あるいは英語でない書類には、日本語訳あるいは英語訳を添付すること。

4. 選抜方法

履修者の選抜は、願書、志望調書、出身大学の学業成績証明書等による書類審査によって選抜する。ただし、必要に応じて面接審査を行うことがある。面接審査を実施する場合は、願書に記載のメールアドレスに通知する。

II. プログラム3年次への編入履修者募集

本プログラムは、修士・博士5年一貫のプログラムになっていますが、定員の状況によっては、博士後期課程に入進学した者を対象に、本プログラムの3年次(博士後期課程1年次)への編入履修者を募集します。今年度の募集については以下のとおりです。

1. 募集人員

プログラム履修者 3名

2. 出願資格

令和8(2026)年度の4月に以下の研究科・専攻の博士後期課程に入進学した者。

- ・情報学研究科：情報学専攻
- ・農学研究科：農学専攻、森林科学専攻、応用生命科学専攻、応用生物科学専攻、地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻

3. 出願手続

以下の書類を持参または郵送(書留速達郵便)で提出すること。

- ①願書(所定の「様式 1」←Ⅲ. 参照)
- ②志望調書(所定の「様式 2-2」←Ⅲ. 参照)
- ③受入承諾書(所定の「様式 3」←Ⅲ. 参照)
- ④編入希望調書(所定の「様式 4」←Ⅲ. 参照)
- ⑤プログラム修了者追跡調査協力同意書(所定の「様式 5」←Ⅲ. 参照)
- ⑥出身大学の学業成績証明書
- ⑦出身大学院の学業成績証明書
- ⑧学生証のコピー(留学生は、併せて「在留カード」の表面・裏面のコピー)

出願期間：令和 8(2026)年 4 月 7 日(火)～4 月 14 日(火) 午後 5 時必着

提出先：Ⅵ. 参照

提出書類は日本語または英語で作成すること。日本語あるいは英語でない書類には、日本語訳あるいは英語訳を添付すること。

4. 選抜方法

履修者の選抜は、願書、志望調書、出身大学・大学院の学業成績証明書等による書類審査によって選抜する。ただし、必要に応じて面接審査を行うことがある。面接審査を実施する場合は、願書に記載のメールアドレスに通知する。

Ⅲ. 募集要項掲出場所

募集要項及び所定様式については、プラットフォーム学 卓越大学院 Web ページ <https://www.platforms.ceppings.kyoto-u.ac.jp/>よりダウンロードしてください。

Ⅳ. プログラム履修者の発表

プログラム履修者の発表は、5 月下旬にプラットフォーム学 卓越大学院 Web ページにて行います。

Ⅴ. 個人情報の取扱い

- ・本プログラムにおける出願書類、各種申請書類等に記載されている個人情報、ならびに必要な応じ所属研究科より提供のあった個人情報は、各種選考及び受入れ準備、教育・研究指導等の目的において利用します。
- ・選抜時の成績は、大学院教育支援機構 SPRING プログラム(進学前採用枠)卓越大学院推薦枠における本プログラム推薦候補者の選出に利用します。

Ⅵ. 出願書類提出先

提出された出願書類に不備があれば、こちらから問い合わせることがあります。

受付場所・郵送先：

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 総合研究 9 号館 A 棟 1 階 104 室
京都大学 プラットフォーム学卓越大学院プログラム事務部

TEL(075)753-9218

受付時間：平日 午前9時～12時、午後1時～5時

VII. 問い合わせ先

京都大学 プラットフォーム学卓越大学院プログラム事務部

電話番号：(075)753-9218

メールアドレス：platform_104@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp